

2024（令和6）年度市政懇談会 開催結果概要

- 日 時 令和6年7月8日（月）午後2時00分～
- 会 場 大星会館
- 参加者 19人

〔市長より説明（別途資料参照）〕

- （1）都心部のにぎわいづくりについて
- （2）災害時の避難所について

●質疑応答

【参加者A】

前段のご説明では、まちの形を変えていくことと理解しました。おそらく高齢化したまちの機能を健全にしていこうという雰囲気を感じました。

市役所の本庁舎と防災庁舎の間のスペースが通るたびにもったいない空間と思っています。何か活用する場はないのかと感じています。

また、私がよく行く市場は、非常に評判がいいです。近頃では、札幌、帯広、岩手の車が来ていました。しかしながら、お店がだんだん撤退して空いてきている状況です。何らかの手立てを講じて、あの辺から人が集まる場所として始めて欲しいと思っています。

もう一点は、私たちの住む地域は避難困難地域と指定されていました。あらためて市長や幹部の方々に避難場所を作っていただく決断に対し非常に感謝しています。住民も安心しています。先ほど説明がありました自助、共助について町内会でも議論をしています。まだ形として見えていませんが、地域の中で一生懸命取り組んでいます。完成までにそういった住民の姿がいくらかは出てくると思っています。一人も犠牲者を出さないとは言えないけれども、犠牲者を少なくする思いで、町内会でも取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくご協力をお願いいたします。

【市長】

都心部のにぎわいづくりについては、今までが間違っていたとは思っていません。過去は過去で一生懸命考えたことだと思っています。しかしながら、その時にベースとなっていたのは車だったことはどこの地域でも同じです。車で移動することを主軸で考えていったときに、そこににぎわいは生まれてこない。あわせて、みんなが車を使うことで、どんどんバスの利便性が悪くなりました。実際のところをバス会社と様々な議論を行い、バスが充実するよう進めていきたいと思っています。まちづくりとは土台を作るイメージであり、今までの延長線上で行うのではなく、ベースを変えるエリアを作っていくということです。ですから基盤を作り、次にそこをどのように活用していくのかと思っています。

質問のありました市役所の本庁舎と防災庁舎の間も、行政だから使わせないようにしていると思われがちですが、逆です。キッチンカーや炉端などで活用することで、周りの観光客も来たりしています。積極的に活用していければと思っています。

市民の台所であります和商市場については、極めて有名で観光客も来ているところです。駅周辺のプランニングの中で、市場もかなり老朽化していることから相談しているところです。こういったところの利便性やバスの利便性なども一緒に取り組める形で、まちの財産ですので、しっかりと進めていければと考えています。

避難施設については、しっかりとした基準水位が示された段階で抜本的な対策を行うこととして進めてきました。基準水位が出るまで時間がかかり、ご指摘もたくさんいただきましたが、速やかに進めていきます。あわせて対応が難しい地域には避難タワーを整備するなど行っていきます。避難訓練など皆さまに取り組んでいただいているところですので、一緒に地域づくりを行っていきたいと思っています。ご協力よろしくお願いいたします。

【参加者B】

先ほどまちの中心部の話をされましたが、私は旭小学校の卒業生で、4クラスでした。その前は18クラスあって、午前と午後に分かれていたという話を先生方から聞いたのを覚えています。私は駅裏で生まれ育ち、小学校の時は北大通の同級生がいましたが、当時のお父さんお母さんはご高齢で働いていないということもありますけれど、今はほとんどいません。まちの中心部や駅裏の衰退を肌で感じながら、結婚と同時に、鳥取に移って暮らしています。私も小さな会社の経営者ですが、市を経営するトップの方や理事者の皆さまは大変苦勞されると思います。50年後、またはその先を見据えて計画をしていかなければなりません。しかし、自由な経済の中で、また個人が個々に豊かな生活を求めて、自分の家庭のことを優先して、いろいろなまちづくりをしてしまいます。例えば私の町内会であれば、いろいろな提案をしても、今は煩わしいとか面倒くさいとか関わりたくないとか隣近所と付き合いをしたくないと言ってすごく希薄になります。私の家族もそうです。「お前が長男だからおやじの責任はお前が取れ」や「自分のことで精一杯だから俺は関係ない」と言われます。個々の物の考え方があるので市長をはじめ理事者の皆様は、本当に苦勞されると思います。できれば50年後を考えて、いろいろな取組を行ってもらえればと思います。

駅裏の商店街で営業しているところは、今は2件です。全部なくなり、廃墟みたいになっています。本当にお金のない人は、売ることもできないし、片付けることもできずそのままです。駅裏もこの前通った時は、だいぶ解体が進んで、次の駅高架を見据えた投資の話を目にします。私の実家の土地も売りました。ぜひ蝦名市長にはいい形になるようお願いいたします。

次に避難所の件ですが、私はコア鳥取の管轄の町内会にいます。以前も市政懇談会で話しましたが、ブラックアウトの時に炊き出しをしようと思ったら、市では決められないと言われました。指定管理者からは市の許可が出ないといけないと置き去りにされました。市でそのルールを早く決めていただきたいと思っています。

【市長】

緊急時の炊き出しは当然のようにできるものと思っています。駄目だとなっているのであれば変えなければなりません。緊急の時は何を優先するかという

ことになります。対応するようにします。

【参加者B】

私は災害支援ネットワークで遠野に行き、岩手の陸前高田や釜石の現場に行ってきました。その時に釜石の市長とボランティアセンターで炊き出しをして、三陸の海岸沿いのまちにおにぎりを運ぶ時に、岩手の保健所から「食中毒が起きると困るからやらないでください」と市長の所に連絡が入りました。市長は、それは保健所のルールだからと無視して行いました。蝦名市長にはぜひ保健所との調整もお願いしたいと思います。

【市長】

目的があってルールがあります。絶対守らなければならないルールもありますけれども、その状況が変わった時に、命を救うための食事で、冷たいものばかりではなく、炊き出しで温かいものがあるとそれだけで気持ちは変わると思います。避難する場所を確保し、その後の避難生活を進める中で、低体温症や災害関連死ということが今回の能登半島で出てきました。あとはネットワークの問題など全ての状況を踏まえながら進めているところですので、しっかりと安心できる形を構築していきたいと思っています。

【参加者C】

先日新聞にバスの「たんちょう線」が廃止になると出ていました。私の町内はおよそ250戸あります。高齢者がおよそ270名いると記憶しています。そういった中で日中のバスがなくなってしまう。バス会社の運航状況のデータからそうだったとは思いますが、高齢者は「お出かけパスポート」を持っています。国道に出るまでお年寄りの足では15分から20分かかりますので、「お出かけパスポート」が使えなくなり、お出かけができなくなるという意見が出ました。

もう一つは、我々の避難場所は鶴野支援学校になります。私どもの町内会はいろいろな町内会が集まりできた町内会です。そこで災害の備蓄品をたくさん用意いただいています。まだ足りません。ある程度は自分たちで用意しなければならないものですか。支援学校は道立ですので、北海道にお願いするべきものでしょうか。

【市長】

バスの件につきましては、市役所も入りながら相談していきます。昔は、バス会社は民間の会社ですから、そのルールに基づいて行われており、市は補助金を出すという形であり、バスの路線についてはバス会社で決めていました。しかしながらバスは地域にとって大切な足になりますから、大切にしていこうということで市役所とバス会社で協議会を作り、維持や活用を協議しています。その中で乗換拠点も協議しています。バスで長い距離を走ると時間もずれて、すでに来たのか待っていていいのかもわからないとか、時間があやふやになります。確かに乗ったら目的地に着くので利便性はありますけれども、時刻の正確性や頻度を考えるとイオン釧路昭和店やアークスの協力を得て乗り換える場所にするなどして取り組んでいるところです。

ご質問の「たんちょう線」については、細かく打ち合わせできていないところ

ですので、いろいろ相談しながら進めていきたいと思っています。やはりバスはバックアップしながら利便性を高める必要があります。皆さまが乗らなくなるとますます無くなっていき、最終的には維持できなくなります。これについては市もしっかり入りながら相談していき、皆さまに情報を出していけるような形で取り組んでまいりたいと思いますので、少しお時間をいただきたいと思ひます。

次に、鶴野支援学校の備蓄については、学校でも一定程度は行っていると思ひますが、先ほど説明しましたように水や生きながらえていくためのもの、あとは薬が一番必要です。薬は備蓄できる話にはなりませんので、最長で72時間命を救うという観点で、必要不可欠なものは皆さまに準備していただきたいと思ひています。我々も72時間を出来るだけ短くし、可能なことはいち早く対応していきませんが、ぜひ協力願ひたいと思ひます。先ほど釜石の話が出ましたが、釜石市も「備蓄はこれしかできません」と言っています。釧路市でも例えば食事については、避難対象者が11万人いますので、3日間で9食と考えると100万食になります。この考えは物流システムが正常化して初めて成り立つもので、100万食を備蓄するのは現実的ではありません。ですから、命を守る最大で3日間は何とか願ひたいと思ひています。その後の対応は責任をもって行ひますのでよろしく願ひします。

【参加者B】

釧路市の方に町内会として要望書を出させていただひています。その一つ一つに「検討します」とか「調整してまいります」と書かれ、「いつまでにこのようにしたい」とか「意見を聞く場を設けたい」など具体的な返答が書かれていません。市長は前々から「いろいろ提案して1割でもいいから市民に寄り添う施策を行いたい」とおっしゃられていました。私としてはそれが全く見えていません。まちづくりのハードの部分も大切ですが、市民に寄り添った形のもの各部署と相談し、「何年までにこのようにする」といったように進めていただきたい。

【市長】

いろいろな提案をいただきながら、どのような形で進めていけばいいのかについて市役所の中で相談しながら行ひていますが、なかなかそこがうまくいっていませんので、大変恐縮に考ひているところでござひいます。本当に「いつまでにどうする」ということが答えです。期限を決めなければ駄目な話だと思ひています。どうできるか考ひて進めていきたいと思ひています。

今、要望の調査を年2回にしています。前は市政懇談会に合わせて年1回でしたが、しっかりとした動きを見せていくため5月と10月の2回にしました。5月は地域の課題をいただき、市役所の予算などを決めていき、3月議会の中で発表しています。そして10月は、再度ご意見をいただき次年度の予算の中でこういったことを行ひ、もしくは制度的なものであれば見直しながら進めていくということを確認し進めていきます。そういった時間軸の中で動けるような仕組みで進めているところでひす。今回の回答も踏まえて、10月に向けて進めてまいりたいと思ひています。

【参加者A】

空き家対策ですが、町内会に戸建ての住宅が132戸あり、その中で20戸の空き家があります。冬季間は雪が被っているから見えないけれども、草は生え、クモの巣、ネズミ、キツネが出て、環境が非常に悪いです。消防にも何度か見てもらいましたが、屋根が飛んでくるということで、急遽応急手当を2度ほど行っていただきました。個人の財産ですから勝手なことにはできないと思いますが、例えば涼しいから夏だけ釧路に来ている方たちに、ちょっと広い土地を畑にして、そこに一時住んでもらい、秋には収穫して帰ってもらうようなスタイルもできるのではないかと思います。うちの町内会だけではなく全国どこでも同じだと思いますけれども、難しいと思いますが、何らかの目に見える手立てができないものでしょうか。

【市長】

空き家対策は全国の課題になっていまして、私どもはもう一つ空きビルという課題を持っています。今回は空き家ということですが、本当に危険な特定空き家に認定されると行政代執行で我々公のお金で壊し、後から持ち主に請求する仕組みがあります。しかし、実際は、ほとんどお金は戻ってきません。その前段には「しっかりと対応してください」と登記簿上の所有者にアプローチを行う手順になっています。ただし、今おっしゃられたように消防が対応したということであれば、特定空き家になっていると思いますので、後ほど個別に場所など担当部長からお伺いいたします。

昔は、空き家は法的にそのままにしておいた方が、コストがかからないというおかしなことになっていました。これは空きビルも同じです。しかし、今はそのままにしておく問題になってきていますので、法改正を国に要請しています。

個別の家になりますと、いろいろな手法が出てくるかもしれませんが、具体的に相談したいと思います。

長期滞在の活用につきましては、特定空き家までいってしまったところは難しいと思いますが、空き家をいろんな形で皆さんに使ってもらおうという取組を行っているところです。先日も民泊を紹介するAirbnbという世界規模の会社と釧路青年会議所も入り3者で協定を結びました。登録された中に、毛綱毅曠さんが造られた建物に泊まれるような形で工事している物件もあるみたいです。そういった動きも協定を結びながら進めていますので、情報を出していきながら、利活用できる形で地域にプラスになるよう進めていきたいと思っています。

【参加者B】

私の町内会でも亡くなった方がいて、その方がやっていた畑が草ぼうぼうになり誰も手を付けないので、実習生の方や町内会の有志の方で草刈りをし、所有者の息子に電話で「私たちの方で畑にしていいか」や「売却はどうするのか」というおせっかいを不動産屋を通して行いました。地域の課題は地域で極力やらないと、行政では個人の相続などは話も聞けません。町内会で顔が見える相手であれば、娘や息子の連絡先を控えておいて、何かあった時にやりとりができるよ

うにする必要があります。やはり町内会の必要性というか、絆、情報共有が必要
です。その中に是非とも行政の方も寄り添ってもらいたいと思っています。

【市長】

さきほどまちづくりの中でも言いましたけれど、やはり今いる方々が、どのよ
うに物事を進めていくかということですので、誰がやるという話ではなく、今い
る我々の中でそういった課題というものを解決するか、もしくはそういった
様々な課題に向かい合うかということだと思えます。その立ち位置が重要だ
と思えます。私ども行政体は、地域の現場ですので、関与することが市役所でご
ざいます。そういった立ち位置をしっかりと持っていきながら進めたいと思えます。

【参加者A】

日本製紙跡地に大きな工場ができるということに触れていただけませんか。

【市長】

まだ場所は発表されていませんが、日本製紙跡地に製材工場がくることにな
ります。秋くらいに釧路を本社とする新会社を構築し、これに取り組むもので
あります。36万㎡の国内最大級になります。今北海道で一番大きいところで津別
の丸玉木材株式会社が30万㎡弱ですので、さらに大きいところがございます。
工場は日本製紙の本体部分の3分の1である19ヘクタールを活用し、そこに
出来上がります。

大きい製材工場が来ることで、材料が買い占められるのではないかという不
安を感じる方もいらっしゃるというのが実態です。しかし、北海道はもちろん製材工
場もあります。50万㎡が丸太のまま、材料として供給されていると言われて
います。丸太で本州に行って、そこで製材するわけです。つまり付加価値がない
状況です。昔は釧路でタラがいっぱい採れていた時にタラコは九州で明太子にな
っていました。昆布も原産地はこちらですが、北前船で北陸に入り関西で加工
され、付加価値が上がった状態で沖縄や世界に行っています。原料に恵まれてい
るがゆえに原料のまま出て行っているという形です。ですからここで加工して
付加価値を上げれば地域にとってプラスになります。このような取組を進めて
いくことが必要だと思っています。北海道内で加工し、全体的に林業を押し上げ
ていき、活性化につなげていくということを考えながら進めています。

日本製紙も釧路に工場を作ったのは、森林資源が豊かな地域であるからです。
しかしながら、紙の原料がパルプから古紙に変わりました。釧路工場は新聞紙に
特化していましたことから、新聞は毎年7%購読が減少している状況の中で、釧
路にいる必然性がなくなり撤退するということになりました。

今度の製材工場は、資源が豊富ですし、人手不足はありますが、収益が上がり
プラスに働くように我々も取り組んでまいります。釧路市内だけでも面積の7
4%が森林です。ここが次の100年の地域のものづくりのスタートになると
思っています。

まだ北海道にはないCLT（直交集成板）という3階建てや4階建てのビルが
木材で建てられる技術で次の展開が進んでいくなど、ここでスタートを切るこ
とができればと思っています。スナダヤの製材工場が釧路に進出することを発
表していただきましたので、このような勢いにつながっていけばと思っていま

す。

【参加者D】

都心部のにぎわいから始まって災害の話をしていただきましたけれども、私たちの住んでいる地域のことも、具体的に7つの拠点として地域の拠点を考えていただいているようですので、次回の市政懇談会では、ぜひ大楽毛、星が浦地域の活性化について、市としてどのように考え、進めているのか出していただけると、我々も、今後いろいろな場でお話ができると思っていますので、お願いしたいと思います。

【市長】

本当に地域の中でお話していくということが重要だと思っています。しかし、どういう風に持っていくかを考えた時に、「どうしようか」と皆さんが話をする場面の方がいいのではないかと思います。市の中で星が浦をどのように展開していくのかについて、あまり議論はされていません。もちろん議会などで議論はありますけれども、どちらかというと課題解決という形です。この地域で言いますと、防災の問題をどうするかという内容でした。あとは鶴野からの排水などに取り組んでいるところです。

行政体の中でそういった議論がほとんどないのが実際ですから、どのように進めていくかを考えた時に、そういった場面づくりがいいと思います。地区連と課題について議論などできればと思っており、ここは相談していきたいと思います。何か一緒に取り組んでいただければ、それは非常にいい形だと思っています。市政懇談会は場所を変えながら行っていくものですので、そういった場面づくりがあれば伺いたいと思いますのでよろしくお願いします。

【参加者D】

市として、この地域のことについて具体的に考えていることがあれば、こういった場で述べられるとわかりやすいと思ったので、聞いてみました。

【市長】

課題などがあれば示していければと思っていますので、よろしくお願いいたします。